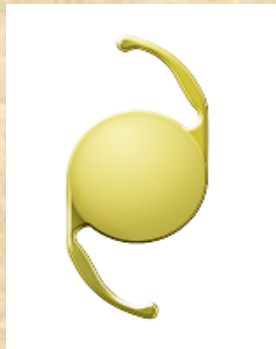


白内障手術

単焦点眼内レンズ

<健康保険適用>



◆ Clareon

保険適用の単焦点眼内レンズです。遠近いずれかにメガネの併用が必要となります。通常のレンズと乱視矯正レンズの2種類があります。乱視矯正レンズは仕入れ価格が高く、精密な術前検査と移植に高度な手術技量を要するため、一般の施設では使用されておりませんが、術後乱視を軽減し良好な裸眼視力を提供できるので、患者さまにとっては非常にメリットの高いレンズです。当院では、「最高の白内障治療を提供する」という診療理念に基づき、適応のあるすべての患者さまに乱視矯正レンズを使用しております。

通常の眼内レンズも乱視矯正レンズも自己負担額は同額です

			片眼手術費用	両眼手術費用
70歳以上	3割負担	現役並所得者Ⅰ	60,000 円程度	80,000 円程度
		現役並所得者Ⅱ・Ⅲ	60,000 円程度	110,000 円程度
	1・2割負担	一般	18,000 円	
		非課税世帯等	8,000 円	
70歳未満	3割負担		60,000 円程度	110,000 円程度



<自由診療> 費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です

世界的な光学器機メーカーであるCarl Zeiss社製の単焦点眼内レンズ。最高峰の品質と性能を備えます。特に乱視矯正レンズのAT TORBIは保険診療のトーリックレンズでは矯正できない度数をカバーしており、強度の近視や乱視を治すことが可能です。

レンズはドイツ本国からの取り寄せ、もしくは受注生産となるため、手術までに数週間の期間を要することをご了承下さい。

◆ CT ASPHINA

◆ AT TORBI (乱視矯正用)

片眼 乱視矯正なし

片眼 乱視矯正あり

400,000 円(税込)

450,000 円(税込)

白内障手術

多焦点眼内レンズ <自由診療>

費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です

◆ Galaxy



Galaxy は世界で初めてAI(人工知能)が設計した多焦点眼内レンズです。従来の多焦点レンズでは表面に掘られた同心円状の溝が、入射光を遠方・中間・近方の3つの焦点に分けていました。網膜面上ではピントの合った周囲に他の焦点からきた光が重なるため、コントラストが低下したり、夜間に街灯の周りに光の輪(ハロー・グレア)が見えるといった欠点がありました。Galaxyは同心円ではなく、螺旋状の溝を掘ることで、この問題を解決し、高コントラストで明るい視界を実現しました。欠点はFINE VISION に比べて、近方視力がやや劣り、老眼鏡が必要なケースもあることです。

片眼 乱視矯正なし

750,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

800,000 円(税込)

◆ FINE VISION HP

当院での手術成績は学術論文で世界的に高い評価を得ています



FINE VISION HPはFINE VISIONの光学部設計はそのままに、新たに開発された「疎水性アクリル素材」で作られた多焦点眼内レンズです。術後炎症が少なく、「後発白内障」が起こりにくい事。また術後何十年にもわたり眼内でレンズの劣化を生じないのが特徴です。乱視矯正のできないFINE VISION HPは、国内認可を受け、選定療養で使用されていますが、多焦点眼内レンズの手術で術後乱視が残ると、すべての距離で裸眼視力不良を起こし、術後に乱視矯正用のメガネが必要となります。当院では2024年8月に世界に先駆けてFINE VISION HP toricの移植が行われ、以来BVI社より特別に乱視矯正用レンズが供給されています。当院ではこれを自費診療で提供することができます。

片眼 乱視矯正なし

750,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

800,000 円(税込)

◆ FINE VISION



術後に眼内レンズが回転しない Double C Haptics 形状の多焦点眼内レンズです。遠方・中間・近方の3つの焦点を持ち、遠方から近方まで極めて良好な視力を提供します。日本国内でも近年このレンズを取り扱う施設が増え、当院でも多数の手術実績があります。術後の追跡調査においても良好な結果が得られており、非常にコストパフォーマンスの高い多焦点レンズです。「親水性アクリル素材」のため、術後に後囊とレンズの間に濁りを生じ、視力低下をきたす「後発白内障」を起こしやすいという欠点があります。

片眼 乱視矯正なし

500,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

550,000 円(税込)

◆ AT LISA



ドイツの世界的光学器機メーカーカールツァイス社の多焦点眼内レンズです。

遠方・中間・近方の3つの焦点のバランスに優れています。強度近視・強度乱視にも対応でき、手術後もっとも眼鏡使用頻度の少ないレンズと評価されています。日本ではこのレンズの取り扱い施設は少なく、極めてプレミアムな多焦点レンズです。

移植する眼内レンズの度数は、患者さま個々の検査データをカールツァイス本社に送り、研究所の専門チームが特別なプログラムで計算を行います。

片眼 乱視矯正なし

750,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

800,000 円(税込)

白内障手術

多焦点眼内レンズ <選定療養>

(2025年7月1日改定)

「選定療養」とは、患者さまが多焦点眼内レンズと単焦点眼内レンズの金額の差額分を自己負担することで、健康保険を使って多焦点眼内レンズでの手術を受ける制度です。眼内レンズの仕入値は施設によって異なるため、患者さまの負担額も異なります。手術代金は眼内レンズの差額分とは別に負担率に応じた費用が掛かり、診察の際には検査料、診察料、処方箋料が毎回掛かります。この制度で使用できる眼内レンズは国内認可のレンズに限られます。

◆ PanOptix

PanOptixはアメリカ製の3焦点眼内レンズで、遠方から近方まで連続的に見ることができます。ただしAT LISAや、FINE VISIONに比べると手元の視力がやや劣り、老眼鏡を必要とする場合もあります。夜間には光が滲み、街灯の回りに光の輪が見えます。

最もコストを抑えて多焦点眼内レンズでの手術を希望される方に最適なレンズです。

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
300,000 円(税込)	350,000 円(税込)

◆ PanOptix Pro

PanOptixの改良版。入射光線を3つの焦点に分ける際に生ずる光のロスをPanOptixの12%から6%の半分に軽減し、100cmでのコントラストが16%改善されています。

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
350,000 円(税込)	400,000 円(税込)



◆ Vivity

Vivityは屈折型の光学部設計により、PanOptixのような回折リングを持つ多焦点眼内レンズ特有の夜間の光の滲みや街灯の回りの光の輪を解消したレンズです。PanOptixに比べ、明るさコントラストに優れ、遠方から中間距離までは眼鏡なしで見えるという利点がありますが、近方視力が不良なため、老眼鏡の併用が必要となります。

進行した緑内障、加齢黄斑変性症、糖尿病網膜症、黄斑前膜などの併発症があり、通常の多焦点眼内レンズが適応でない方にも、使用可能です。

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
300,000 円(税込)	350,000 円(税込)

プレミアム単焦点レンズ <自由診療>

(2025年8月1日改定)

◆ SERENITY

費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です



単焦点眼内レンズですが、独自の光学設計により遠方のみならず中間距離まで良好な視力が得られる次世代の眼内レンズです。新聞等の近見には老眼鏡が必要ですが、多焦点眼内レンズのような回折リングを持たないため、夜間のハロー・グレアの問題がなく、鮮明な夜間視力が得られます。緑内障・加齢黄斑変性症・糖尿病網膜症などの眼底病変により多焦点眼内レンズが適応外の方にも使用可能です。

従来のISOPUREに比べて、眼内安定性に優れた設計で、当院には世界に先駆けて特別供給されています。

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
500,000 円(税込)	550,000 円(税込)